



東中だより

夢を追え、自らを高めよ
—学べ・磨け・輝け—

11月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和8年10月30日 発行

「ボランティア活動」

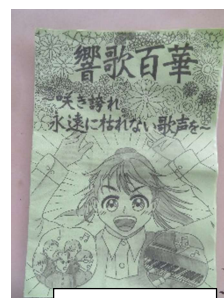
校長 高久 正行

ここ数年、残暑が長く秋はどこにいったの？と思っていましたが、今年は暑くもなく寒くもなく、本来の秋らしく過ごしやすい日が続くようになりました。10月は、新人体育大会、中間テスト、合唱祭、市駅伝大会、未来(み)くる先生、つぼみの日とイベント満載の月でもありましたが、東中生一人ひとりが意欲的に参加してくれていたことに大変うれしく思っています。特に、『合唱祭』では、「響歌百華～咲き誇れ。永遠に枯れない歌声を～」のスローガンのもと、さいたま市文化センターの大ホールに各クラスのハーモニーが響き渡りました。当日ご観覧いただきました多くのご来賓・保護者の皆様にも感動をお届けできたのではないかと思います。

さて、本校では、「地域交流・地域貢献活動の推進」を掲げ、生徒のボランティア活動への参加を積極的に働きかけています。以前はボランティア活動に参加している生徒が少ないという現状があり、学校運営協議会の場で熟議を重ねてきていただいた経緯があります。そして地域の関係諸団体にボランティア活動の場の提供を依頼し、昨年度から本格的な実施となりました。本年度10月末現在で、のべ111名の生徒がボランティア活動に参加していますが、今後もまだまだ数字が伸びるものと期待しています。3年生との面接練習の中でも、「ボランティア活動を頑張った！」と話す生徒もおり、着実にこの活動が広がってきていると感じています。

ボランティア活動の原則には、①「自分からすすんで行動する『自主性・主体性』」、②「ともに支え合い、学び合う『社会性・連帯性』」、③「見返りを求めない『無償性・無給性』」、④「よりよい社会をつくる『創造性・開拓性・先駆性』」があります。中でも、ボランティア(volunteer)の語源となったと言われている2つのラテン語「volo(ヴォロ)」には「自ら～する」という意味、「voluntas(ヴォランタス)」には「意思」という意味があります。つまり、ボランティアは「自らの意思で行動する」という意味が根底にある言葉だそうです。自分の意志で行動し、困っている人を助けたり、達成感や充実感を味わったり、人とのつながりを感じたりできる大変意義深い活動だと思っています。今後も積極的に推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

11月は2学期の折り返しとなります。3年生はこれから三者面談等を通して、進路先を確定させ、年明けの受験に向かっていく大事な時期に入ります。また、2年生は11月4日～6日の日程で「未来(み)くるワーク<職場体験>」を実施しますので、生徒たちの取り組む様子を見守ってあげてください。



合唱祭



駅伝選手にあてた寄せ書き



「未来(み)くる先生」講師の円谷風香様に書いていただいた漢字！



今回の「合唱祭」で、7組の生徒たちが合唱祭実行委員と一緒に「翼をください」を披露してくれました。その際、「手話」を交えながら歌う姿がとても印象的でした。昨年、「東京2025デフリンピック」が開催されたこともあり、多くの皆さんにもっと「手話」について知ってもらいたく、下記に簡単な紹介を掲載しました。少しでも興味をもっていただけたら幸いです。

「手話」とは！

手指や体の動き、表情を使って、視覚的に表現する言語です。「障害者の権利に関する条約」及び「障害者基本法」において言語として明確に位置付けられました。さいたま市でも昨年の6月に「さいたま市手話言語条例」が制定されました。

<基本的な手話を練習してみましょう>



「こんにちは」「お手伝いしましょうか」「ありがとう」

※さいたま市聴覚障害者協会作成Youtubeにリンクしています。